

# ■ 時代をリードするFMを実現

～2007年

2007年～2012年

2015～2017年

2018～2020年

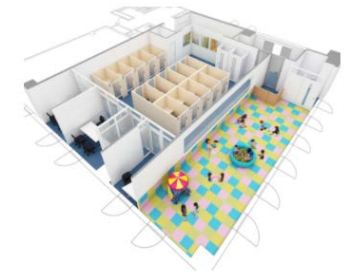


第7回  
JAFM奨励賞 (2012年)

働き方変革をスタート (2015年)

H R アワード (2016年)  
J-Winダイバーシティ・アワード  
企業賞大賞 (2017年)

経済産業省「ダイバーシティ経営企業100選」



▲キッズスペース付きサテライトオフィス全体図



本社 ( Grant Kyosai Tower ) へ集約



ユニバーサルレイアウト ( フリアド化前 )

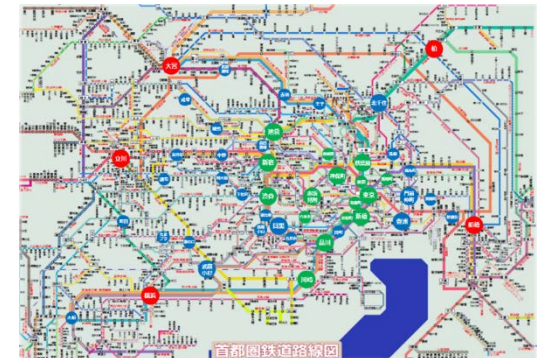


フリアド席 ( 静かスペース )



フリアド席 ( わいがやスペース )

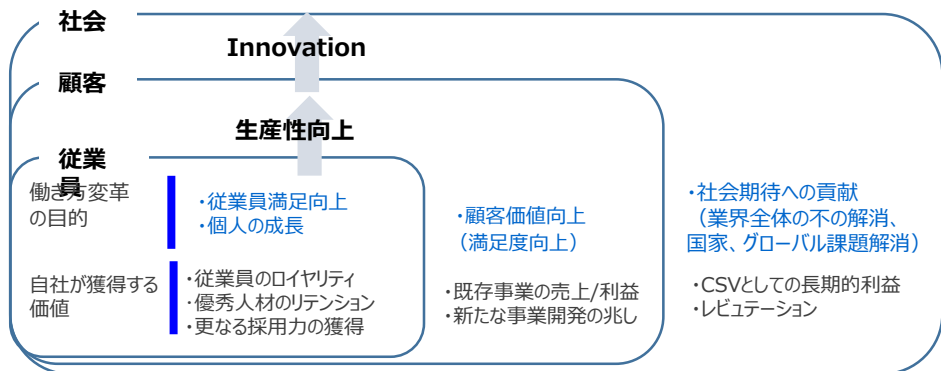
サテライトオフィス拠点



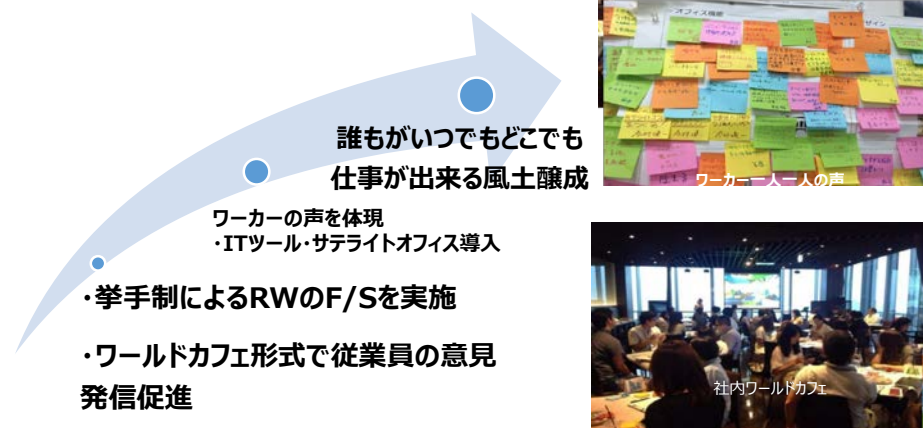
首都圏鉄道線図

# 働き方変革にあわせた新しいFM、4つのキーワード

## 働き方の再発明～so Why～

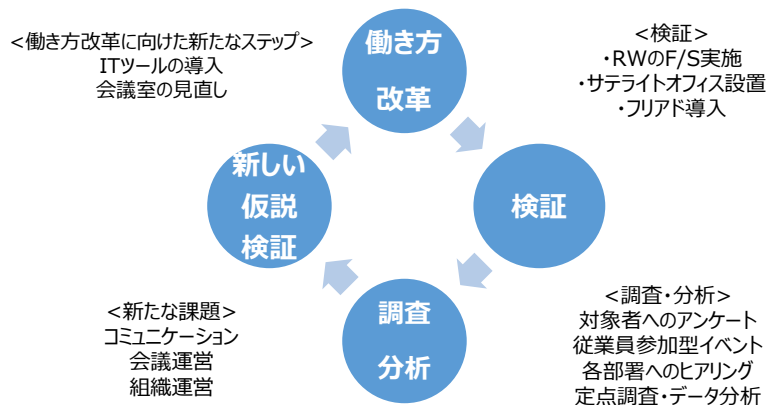


## ボトムアップ型のプロジェクト運営～so Who～



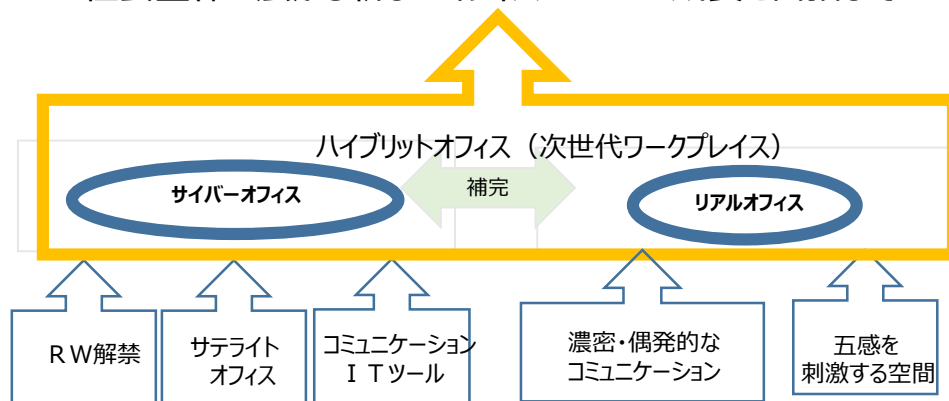
## 科学されたオフィス設計～so How～

ワーカーの働く実態と要望を調査・反映し、実行可能性検証も実施したオフィス作り



## ハイブリットオフィス化へ～so What～

<社会全体へ広がる新しいオフィスFMへの成長を目指して>



## ■ 社内・社外へインパクトを与えるFM

### ■ 社外へのインパクト

#### ・政府や企業が注目する以前から、働き方変革FMを社外へ積極的に発信

日本経済新聞掲載された8月単体、320件年度末までに610件のメディア露出。外部講演50件以上。

#### ・不可逆的なトレンドを作り、働き方変革推進FMを代表する企業へ

リクルートが実践してきたFMが首都圏から地方へ、リクルートから他の企業へ波及。

### ■ 社内へのインパクト

#### ・従業員の会社へのロイヤリティ向上

実施前後の従業員アンケートで「自社において自分なりのワークライフバランスが実践できると思う」

「自分の家族や友人に対しても自社で働くことを勧められる」「今後も自社で働き続けたい」の項目が大きく上昇。

#### ・優秀な人材のリテンションと採用

従業員の実感価値は「ワークライフバランスの実現」「新しい働き方の実現」「健康保持」。満足度・好印象が過半数超え。

#### ・個人の成長、パフォーマンス向上

従業員の半数以上が生産性が向上したと回答した。

#### ・オフィス構成要素見直しによって賃料30%削減、投資コストを1年で回収

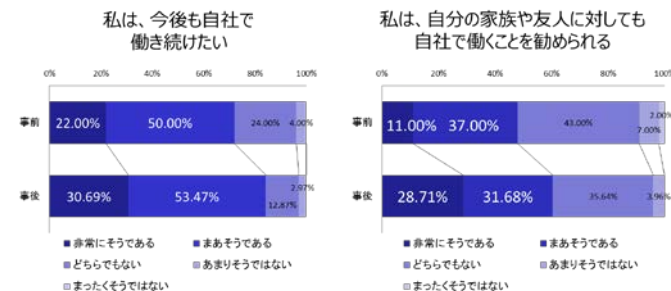
働き方の変化に伴いオフィスの構成要素を再検証し面積を削減、増員にも増床なしで対応できるオフィスを構築。削減したコストで変更に伴う投資費用を1年で回収。

#### ・フリーアドレス導入によって 従業員間の部署を超えたコミュニケーションが増加

#### ・ヘッドクォーターかつスタッフ部門が率先垂範したことで グループ各社への施策波及が加速

グループ各社での働き方変革につながった。

#### ■ 事前事後 従業員アンケート結果



生産性は変化したか

